

(参考情報)

<p>事 項</p>	<p>りんご「トキ」の低温貯蔵後に発生するやけ症状</p>		
<p>ね ら い</p>	<p>近年、りんご「トキ」の流通量が増加したことに伴い、低温貯蔵後に発生するやけ症状に関する問い合わせが増えている。そこで、このやけ症状について、これまでに明らかとなった情報を提供する。</p>		
<p>内 容</p>	<p>1 「トキ」の低温貯蔵後に発生するやけ症状は、陽向面やけ の症状と類似しており、陽向面または陽向面と陰向面の境界付近に褐色の斑紋が発生する。日焼け果や直射光を強く受けた果実で多発する場合がある。主に貯蔵1か月以内に発生し、その後、症状の範囲は徐々に拡大する。</p> <div data-bbox="641 629 1125 1099" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">図 「トキ」の貯蔵後に発生するやけ症状</p> <p>陽向面やけ 「ふじ」と「北斗」で発生が確認されており、貯蔵数か月以内の比較的早い段階で陽向面または陽向面と陰向面の境界付近に褐色の斑紋が発生する。症状は果皮にのみ現れ、果肉に及ばない。年によっては収穫時の樹上でみられる場合もある。有袋栽培で発生が軽減される。</p> <p>2 本やけ症状に対する1-メチルシクロプロペンくん蒸剤(スマートフレッシュくん蒸剤)の抑制効果は低い。</p>		
<p>期待される効果</p>	<p>「トキ」のやけ症状について、各関係機関が知見を共有できる。</p>		
<p>利用上の注意事項</p>			
<p>問い合わせ先 (電話番号)</p>	<p>りんご研究所 品種開発部(0172-52-2331)</p>	<p>対象地域</p>	<p>県下全域</p>
<p>発表文献等</p>	<p>平成25年度試験研究成績概要集(りんご研究所)</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

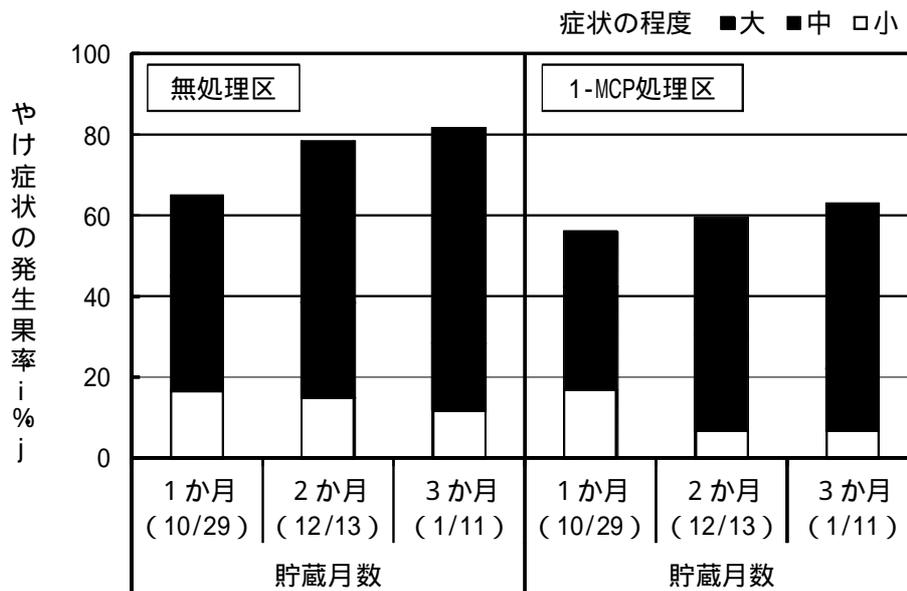


図1 りんご「トキ」の低温貯蔵後におけるやけ症状の程度別発生果率の推移と1-MCP処理の影響

(平成24年 青森りんご研)

- (注) 1 供試果実：平成24年10月4日に6年生の「トキ」/M. 9 EMLAから収穫した果実。樹勢が弱めで雪害による枝の欠損もあり、果実は直射光を受けやすい条件であった。収穫時のやけ症状の発生はなかった。1-MCP(1-メチルシクロプロペン)くん蒸剤は収穫直後に処理した。無処理区、1-MCP処理区とも60果を供試し、0 の普通冷蔵で貯蔵した。
- 2 症状の程度：小(果面の25%未満)、中(25%以上~50%未満)、大(50%以上)